

令和2年度 第4回 防災委員会 議事録

場 所： 建築士会 会議室 (Web 会議併開)

日 時： 令和2年12月8日 (火) 午後6時～8時

出席者： 防災委員会：東・雨森・高戸・内田・遠藤・小檜山・(高橋)・栗飯原・相磯・才上

事務局： 議事録作成者 栗飯原 アンダーラインは zoom にて参加 () 内は欠席

■18:00～20:00

通 常 委 員 会

□ 委員長・担当理事挨拶

- ・ 11月30日 支部長委員長会議 神奈川県中小企業共済会館
川崎支部より災害時支援要請対応マニュアルの勉強会を行った報告。
各支部各委員会の WEB 会議の状況が報告され、職場で WEB 環境を利用できない方もいて防災委員会としては併用している旨報告。他支部でも同様とのこと。WEB 会議の課題が浮き彫りになった。スマートフォンでの参加も要検討。新規会員勧誘に向けて委員会の写真などが委員会資料あれば送って頂きたい。
- ・ 11月30日 第375回理事会 神奈川県中小企業共済会館
- ・ 全国大会にての表彰が、各県単位で行われる事になり、会場にて表彰式挙行。
- ・ 例年開催の賀詞交歓会は中止。映像で配信する予定なので代替企画を模索中。
- ・ 建築士法改正により、建築士試験に合格し「実務経験」を積んで、今後建築士の登録を目指す方を「準会員」として建築士会会員への勧誘を行う。その方をプレ会員とし、会費年額 15,000 円とする。
- ・ 支部交付金の算出が少し変わり「会費割交付金」と「基本割交付金」の合計で算出する見直し案が出された。
- ・ 士会創立 70 周年記念事業で、「(仮称) 続かながわ建築ガイド<会員が選ぶ昭和の建物>」を発刊予定。掲載する建物を会員へ推薦依頼があった。昭和の建物の情報を送って頂きたい。

□ 雨森理事

- ・ 11月24日 中間監査、正副会長・常任理事会 建設会館 2階 ホール
中間監査では、各委員会の中間の予算執行状況を確認され、状況報告があった。
コロナ禍にあり、各委員会、活動が停滞し、予算執行されてない現実に、できるところから工夫しながらの活動をしてほしい、と監査より依頼があった。
- ・ 活性化委員会の進捗 (10月末に集約し、アンケート掲載：前回)
アンケートが集まらないなど、進展しないままの状況。委員会再編は、現況や予算等を考慮しても、令和4年開始が妥当で、それに向け、今後、検討していくことになった。

□ 議題

1. 前回議事録 (10月13日 18:00～Web 会議併用)
2. (仮称) 神奈川県被災地住宅相談・災害時支援要請対応マニュアル編集委員会
 - ・ マニュアル説明会資料 (各支部説明会用のパワーポイント) 最終版 11月24日配信済。(高橋)
 - ・ マニュアル勉強会の開催について
 - ・ 川崎支部 Web (ZOOM) 併用勉強会 実施報告 (才上)
 - ・ 日時：令和2年11月28日(土)17:00～18:10
 - ・ 会場：防災副委員長 才上氏の会社会議室

- ・参加者：会場参加 3 名：Web (ZOOM) 参加 6 名

東京都柏江市での開催で、新型コロナウイルス第3波を受けたこともあり、会場参加は金子支部長、折笠事業部部長、防災担当才上の3名のみ。(会場15名・Web参加30名先着申込の予定のところ)勉強会の周知も11月に入ってから会誌のフライヤー、支部メール、直前の電話連絡等としたが、早めの準備が必要であった。今回の勉強・説明会はCPDへの登録で1単位の講習。支部としては初めての取り組み。Web会議とは異なり勉強会(講習会)としては多くの反省があった。

- ・**反省**:資料作成の段階で書式も入れ込む、Web参加者には事前資料配信、ホスト側が進行に慣れる必要がある。すべて含めて1時間程度で完結できたのは良かった。
- ・**今後の展開**:各支部に(少人数でもよいので)勉強会に防災マニュアルを加えてもらう。(できれば複数回。)

- ・湘南支部:Zoomに不慣れなので、DVDを作ってはどうか。この状況下集まるのはいかがか。(小檜山)
→キャラバン隊に参加した方もあるので、写真を出していただけてはどうか。意識を高めてもらうことをやっていただきたい(雨森)
- ・横須賀支部:総会前にやろうと進めていたので、人数確保はある程度可能。関連団体も非開催なので、あまり動きはない。本部イベントへの参加を募っている。(高戸)
- ・中支部:キャラバン隊に8名しか登録していない。Webも集まらない。総会時にやろうと思っている。(内田)
- ・横浜支部:どうやっていくか見通しが立たず。高橋さんに、マニュアルPPをPDFで送付して欲しい。(相磯)
→大人数でなくても一旦発表、録画して次回それを利用してはどうか。挑戦する。(東)
→次回(2/9)までに支部で相談してもらい報告願う。(雨森)
- ・相模原支部:リモートでやれば良いが未対応。(遠藤)

3. 防災委員会 講演会

Kappa 建築工房 河原一級建築事務所 河原氏による

タイトル:水害と防災～水害体験から防災を考える～(仮) ※河原氏と相談

開催 令和3年2月26日

会場 建築士会 会議室 (Web 会議併開)

参加者 50名

4. 来期、委員長改選について

- ・若い世代の方に担っていただきたい。(東)

5. 令和3年度事業計画

- ・年間スケジュール(未審議)

6. 広報委員会

- ・HPについて 高戸委員

議題において、コロナ渦で記事対象になるイベントが少ない等により、「さろん」記事が集まりにくい現状。一方で防災委員会の「被災地住宅相談マニュアル」は冊子配布や、HPアップにより、広く知れ渡り、多方面で高く評価されているとの話も出た。

そのため、当該マニュアルについての連載記事の寄稿が出来ないかを含めた、防災委員会の意見を求められた。マニュアル解説の複数回の解説記事にとどまらず、防災委員会としての提案も含め、次回委員会で「さろん」への寄稿記事の検討をして頂けないか打診あり。

川崎ではマニュアル講習会が行われたとのこと。コロナ渦の中、各支部、各委員会でも試行錯誤しながら、何とか建築士会を盛り上げようと頭を悩ませている。防災委員会から「さろん」に何か提供できないか、次

回委員会でご検討いただきたい。

・「さろん」に防災委員会活動（防災マニュアル）の連載寄稿検討。

- ①. 冊子をセンテンスに分けて内容を詳しくする。
- ②. 実際にこんなこともあった、という紹介を行う。
- ③. 絵や写真を入れて作成する。

・講演会記事→2/25 締切→4月号「さろん」掲載。会報は1ページもらう。水害・浸水状況の写真を加える。

次回：講演会について掲載する→予告だけでは、「さろん」掲載ができない。
メルマガ、チラシ等で、宣伝する。

7. その他

□ 次回の委員会の予定 ・令和 3年 2月 9日（火）場 所 建築士会会議室 18時より